

夫婦が力を合わせて建てた

特集

木の家の暮らしに
こだわりたい 第2弾!

ログハウス

で

自然の恵みを満喫する暮らし!

長野県長野市飯綱高原・林部 陟さん

雄大な自然に囲まれ、山岳信仰の足跡がそこそこに残るものの、近年は都会から移住する人びとが増えている飯綱高原。そこに神奈川から移住し、夫婦で汗を流しながらマシンカットログハウスのセルフビルドに挑戦した、林部さん夫妻を訪ねてみた。

穫れたての野菜を手にニコリの林部さん夫妻。セルフビルドしたログハウスは、ログ材にフィンランドパインを使っている。

定年後の夢は 充実したログライフ

以前から田舎暮らしを夢見ていた林部^{（ハシベ）}さん（61歳）は、昨年五月、奥さんの喜代子^{（ヨシコ）}さん（60歳）と、長野県北西部飯綱高原の飯縄山麓にある小さな集落に移住した。林部さんはもともと長野市の出身で、中学を卒業してすぐに集団就職のために上京。夜間定時制高校に通いながら、必死に働いた経験を持つ世代だ。移住前は神奈川県相模原市に住んでいたが、在職中よりリタイア後は高原にログハウスを建て、田舎暮らしをすることを夢に描いていたという。

そのための土地は一九九三年、飯綱高原の一角に取得してあった。一九九七年三月に三十八年間勤めた松下通信工業を退職。子どもたちが結婚し独立したのを機に、田舎移住を決断する。

長野で田舎暮らしを始めることにした理由は、出身が長野だったことと、陟^{（ノボリ）}さんの弟夫婦が以前から長野市内で暮らしていたことによる。目標はログハウスをセルフビルドすることだったが、当初は長野市かその近辺で農家の売家を見つけて、そこで生活しながら飯綱高原まで通



家の前の畑でふたり一緒に農作業を楽しんだら、南側のテラスでティータイム。

部材一式が揃った キットログなら 素人でも建築が可能

・ログハウスづくりは一般の人なら一生に一回あるかないか。達成感や充実感は大いなものがあるが、原木の切り出しや加工から始めたのでは、完成までに四年も五年もかかってしまう。そこでおすすめなのは、ログハウスのキットを入手して組み上げていく方法。現在ではログハウスのキットが各メーカーから数多く販売されており、こうしたキットを使えば素人でもプラモデルをつくるような感覚で、半年から一年で居住用のログハウスをつくりあげることが可能となっている。キットとは部材一式のことだ。最近では林部さん夫妻のように夫婦で家づくりの醍醐味を味わおうと、マシンカットログハウスをセルフビルドする人も増えてきている。



い、夫婦二人でログハウスを建てるつもりだったという。ところが、車でいろいろと探してはみたものの、いい物件には巡り会えなかった。

マシンカットログなら 独力で建築可能と判断

農家物件の取得をあきらめた林部さんは、念願だったログハウスのセルフビルドを実行することにした。ログハウスは原木の加工を人間が手作業でやるハンドカットログと、機械加工するマシンカットログの二つに大きく分けられるが、林部さんは迷わずマシンカットを選んだ。

「ハンドカットは素人が独力でやるには難しすぎる。それに実際に見学してみると丸太と丸太の間にホコリが溜まっているのが目立ち、それも嫌でした。その点マシンカットは家一棟分の部材がキットになっている、素人にもセルフビルドが可能。家具の収まりもよく、掃除もしやすそうで定住向きだと思いました」

ただセルフビルドすることを決めたまではよかったが問題が生じた。取得していた土地がやや傾斜がきつく途中の道路も道幅が狭いため、建築や部材の運

搬に不都合であることが分かったのだ。

「キットになっているログの部材は、海外から四〇フィートのコンテナで輸入されてきます。その後コンテナをトレーラーに載せ港から運んでくるんですが、道幅が狭いと現場まで運ぶことができません。その場合途中でいったん積荷を下ろして、二トトラックなどに積み替えてから、敷地まで輸送しなければならなくなるんです」

家一棟分の部材の分量は膨大で、積荷を下ろすだけでなく、積み替えも必要となれば、それだけ時間と手間が余分にかかってしまう。いろいろ考えた末に林部さんは不動産業者と交渉して、敷地内までトレーラーが入って来られる平坦地に買い換えることにし、セルフビルドのための環境を整えた。



①長野市の北西部にある飯綱高原には今も豊かな自然が残り、林部さんの家の周りも湿地や湖が点在する。②百姓三昧の生活を満喫中。野菜は夫婦で食べきれない分を親戚に送ったりする。

林部さんの ログハウスづくりに かかった費用

土地価格	約700万円
総建築費	約1300万円
・キット代	約600万円(税込)
・仮設工事	約250万円
・基礎工事	約150万円
・その他	約300万円
合 計	約2000万円

林部さん夫妻の 移住年表

1993年	飯綱高原で傾斜地の土地取得
1997年	38年間勤めた会社を退職
1998年	セルフビルドスクールに参加 購入済みの土地を別の平坦地に買い換える
1999年2月	仮設工事
1999年5月	仮設住宅に引っ越し(仮住まい)
1999年6月	基礎工事
1999年7月	ログ本体をセルフビルド
1999年12月	ほぼ完成し仮住まいから移る



購入する前に キットに含まれる 部材内容を確認

国内には三百社近くのログハウスメーカーがあり、このうち自分で組み上げが可能なマシンカットタイプのキットログを販売しているのは約百社。各社とも電話で資料請求すれば詳しいパンフレットなどを送ってくれる。またインターネットにホームページを開設しているところもあるので、閲覧してみてもいい。購入する前にはキットに含まれる部材内容の確認をしておこう。例えば窓やドア、屋根仕上げ材や断熱材がキットに含まれるかどうか、事前にチェックしておくことが大事だ。キットに含まれないとなれば新たに買い足す必要が出てくる。またキット価格に国内輸送費が含まれているのか、別途必要なのかも調べておく必要があるだろう。



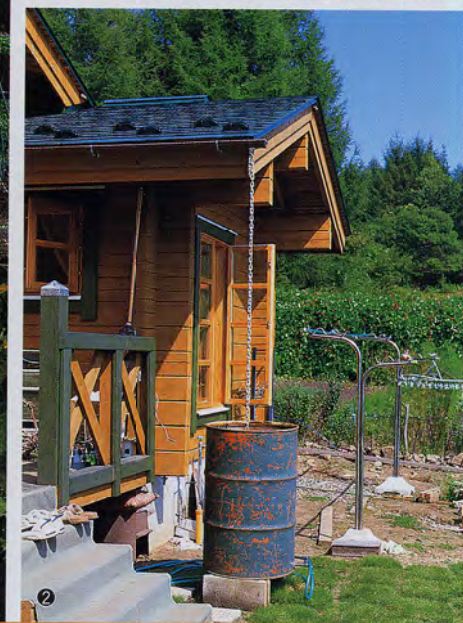
情報収集では ネットをフル活用

もともと手先は器用で彫刻や大工仕事はよくしていたものの、家を建てた経験などはまったくない林部さん。建築にあたってやはり不安はあった。そこでログハウスをセルフビルドするために最低限必要な知識や技術についての情報を得るべく、インターネットをフルに活用する。

ヤフーなどの検索エンジンで「ログハウス」「セルフビルド」など思いつく限りのキーワードを入力し、それで検索してみた結果、数多くの関連サイトがあることが分かった。そのなかで斑尾高原でセカンドハウスとしてログハウスをセルフビルドした人が、その経緯を詳しくホームページで紹介していたため、本人にメールを出してみたところ意気統合。

「実際に建築現場を訪ねて、そこで作業を手伝わせてもらったりしました」

またキットを購入したログハウスメーカーが不定期に開催しているセルフビルドスクールにも積極的に参加し、建築マニュアルなどでは分かりにくい施工のポイントについて学んだりし



①本日の収穫トマト、トウモロコシ、キュウリ、カボチャ、ピーマン。②テラスの前のドラム缶は屋根から落ちる雨水を有効利用するためのもの。③家の北側は森となっており、ログはその風景に溶け込んで建っている。④ビニールハウス内で見事に育ったトマトに大喜び。

使用ログ材の特徴について 知っておこう

ログ材には輸入材と国産材がある。輸入材でよく使われるのはパイン、スプルース、ウエスタン・レッドシダー、ダグラスファアーなどで、国産材でよく使われるのはスギやヒノキだ。まずは輸入材から見ていこう。パインは欧州アカマツのことでマシンカットログに非常によく使われる。白い木肌が美しく、仕上がり温かみがあるのが特徴。林部さんのログに使用したのもフィンランド産のパインだ。スプルースは木肌が美しく手触り感がよく、マシンカットログによく使われる。やや耐久性は劣るが割れが少なく加工もしやすい。ウエスタン・レッドシダーは米スギとも呼ばれ、やや高価だが耐久性に優れ、防水・防虫効果もある。北米の材ではもっとも腐蝕に強いとも言われる材だ。ダグラスファアーは米マツとも呼ばれ、木目はまっすぐで材質が硬く強度がある。比較的安価で流通量も多いため輸入材ではもっともポピュラーだが、ハンドカットに使用されることが多い。

次は国産材。スギは国産材の代表格だ。木肌は木目細かく木目も通る。湿気にも強く芳香があり加工性もいいため、ログ材としてはよく使われる。ただし太い材は少ない。ヒノキは美しい光沢と独特の芳香がある。色は黄白色で特に耐水性に秀でている。さきわめて優秀な材だが、高価であるため多く使われてはいない。



た。

「これはログを建築中の施主の現場を借りて行われるもので、現地集合・現地解散の半日講習会ですが、未経験者や初心者には非常に参考になります。参加申し込みが多いと抽選になるんですが、運よく参加することができました」

実際の建築はまず敷地内の建築スペースの隣にプレハブの仮設住宅を建てることから始まった。

「セルフビルドとは言っても、仮設工事と基礎工事はプロの業者に依頼してやってもらっています」

林部さん夫妻は仮設住宅ができた昨年五月には神奈川県から引越してきた。そしてここに寝泊まりしながら、ログの本体工事を開始。夫婦で力を合わせながらコツコツ家づくりを進め、十二月にはほぼ完成したため仮住まいから引越している。

野菜は自給自足 ボランティア活動も

完成からすでに半年以上が過ぎたが、ログハウスづくりに挑戦した感想はと聞くと、林部さんは次のように答えた。

「いろいろ試行錯誤はありまし

たが、家づくりほど楽しいものはない。これが率直な感想です」

建築作業に没頭していたときに感じた充実感、それにできあがったときの達成感、言葉に言い表せないほど大きなものがあつたという。渉さんは今も未完のテラスの完成と庭に東屋をつくるため、少しでも時間があると大工仕事に精を出すが、とりあえずログづくりは一段落した状態だ。

そこで、今年の春からは敷地の南側をすべて菜園スペースにして野菜づくりを始めた。横にはビニールハウスも建て、また家から一歩のところに別に畑を一反(約三百坪)借りている。もちろん無農薬有機栽培だ。

「安全な野菜づくりの基本については、すぐ隣で無農薬の米づくりに取り組んでいる農家の人から習いました」

農薬を使っていないため、マリゴールドをところどころに植えて虫除けに使うなど工夫している点も多い。野菜づくりは



⑤ 昨年の5月にセルフビルドの安全を願って行った地鎮祭の様子。
⑥ 渉さんはボランティアで介助のほか、写真のような折り紙手芸を教えたりもする。
⑦ 渉さんが自然木を利用してつくった郵便受け。



イメージに流されず モデルハウスを見学しよう

ひと口にマシンカットログと言っても、切り口の形によりいくつかに分けられる。円形の丸ログや方形の角ログが一般的だが、外側が丸太の形で内側が平らなD型もある。またログのタイプもデザインが洗練され、機能性にもすぐれたフィンランドログや、丸太小屋といったワイルドな雰囲気漂わせたアメリカンログもあるなど、マシンカットログの選択の幅はけっこう広い。マシンカットを購入する際に迷わないよう、建ててからどういう生活がしたいのかを、しっかりと把握しておくことが大事だ。

またカタログや写真だけでは細部は分からないもの。よく見極めないで決めるとつくってしまった後で使い勝手が悪いことを悔やんだりするものだ。そこで最低でも一度は実際に建っているログハウスの見学をしたほうがいい。できればいろんなタイプのログハウスを見学して目を肥やしておきたいものだ。どのログハウスメーカーもモデルハウスを建てているはずなので、問い合わせてみることを勧める。

見学するときには広さについて現場で正確に把握するように努めたい。というのも自分が建てる時にはモデルハウスに使ってあるログと同じ太さのログを使うとは限らない。太いログを使用すると使用可能面積も小さくなるため、部屋は狭く感じるものだ。完成後は変えられないのでプランニングは慎重に。

ログハウスの
基礎知識④

移住生活をより楽しいものにして
いるという。

また陟さんは会社員だったとき、社内の定年チャレンジプランという制度を利用して二カ月間休職し、ホームヘルパー二級の資格を取得した。退職後の一年間は相模原市のデイサービスセンターでボランティア活動を実践。飯網高原に移ってから非常勤のホームヘルパーとして活躍している。また喜代子さんも週一回特別養護老人ホームでボランティアをしている。

さらにマラソンランナーでもある陟さんは、国内外の大会に年間十回以上出場しており、大会出場回数は百六十九回を数える。昨年還暦を迎え、娘さんたちから赤いチャンチャンコならぬランニングウェアをプレゼントされ、それを着て「第一回長野オリンピック記念マラソン」にも出場した。

このように夫婦でともに汗を流しつくったログハウスに暮らす林部さん夫妻は、室内では安らぎの木の香りに包まれて過ごし、家の外では高原のすがすがしい空気を吸いながら、野菜づくりやボランティアに活躍する充実の日々を送っている。

文・伊藤一城 写真・田中康弘



①田舎暮らしでは孫とメールのやりとりをするのも楽しみのひとつ。このパソコンも自作だ。
②ぬくもりの感じられる室内。陟さんは内装工事で床暖房を独力で施工した。



PLAN DATA

ログプラン名/J-9変更プラン(林部邸)

- キット価格/約585万円(税別)
- 面積/1階69.00㎡(約20.9坪)、ロフト15.00㎡(約4.5坪)、テラス16.80㎡(約5.1坪)、延床面積84.00㎡(約25.4坪)、総面積100.80㎡(約30.5坪)
- キット仕様/ログ材の樹種(サイズ):フィンランドパイン(厚さ120mm)、床材・天井材の樹種:パイン

ログキット輸入・設計 (株)TALOインターナショナル

☎03-3482-4555 E-MAIL: talo@blue.ocn.ne.jp

※J-9オリジナルプランの現在の価格は¥91万円~(税別)
(ログサイズ95mm×169mm)

ログづくりのコストダウン 虎の巻

ログづくりではセルフビルドにすれば人件費を大幅に節約できる分、かなりのコストダウンが見込めるが、日ごろから情報収集を心がければさらにコストを下げることが出来る。例えばインターネットで定期的にホームページをチェックしていると、ログメーカーがキャンペーンを行う時期の目安がつかようになる。キャンペーンの対象になっているログハウスは、工場の生産調整や決算前の売上確保などの目的で実施されることが多い。ふつうは三〜〇割値引きされることが多く、こうしたキャンペーンを利用してキットを手に入れるのもコストダウンにつながる。

またコストダウンを考えるとときには長期的な視点で考えることも必要だ。例えば使用するログ材について、どんな品質のものを選んだら長持ちするかというところまで考えてみたことがあるだろうか。なるべく高品質なログを使って建てたいと思うのだが、高品質なログ材にするとそれだけコストは高くなる。確かにその通りなのだが、長期的にみた場合、高品質なログを使って建てたほうがコストダウンにつながる可能性がある。その理由はログハウスは建ててしまえば終わりというわけではないからだ。低品質なログ材ほど劣化や腐蝕が早く、それを防ぐためのメンテナンスもより頻繁にやらなければならないのだ。この費用がバカにならないのだ。

ログハウスの
基礎知識⑤